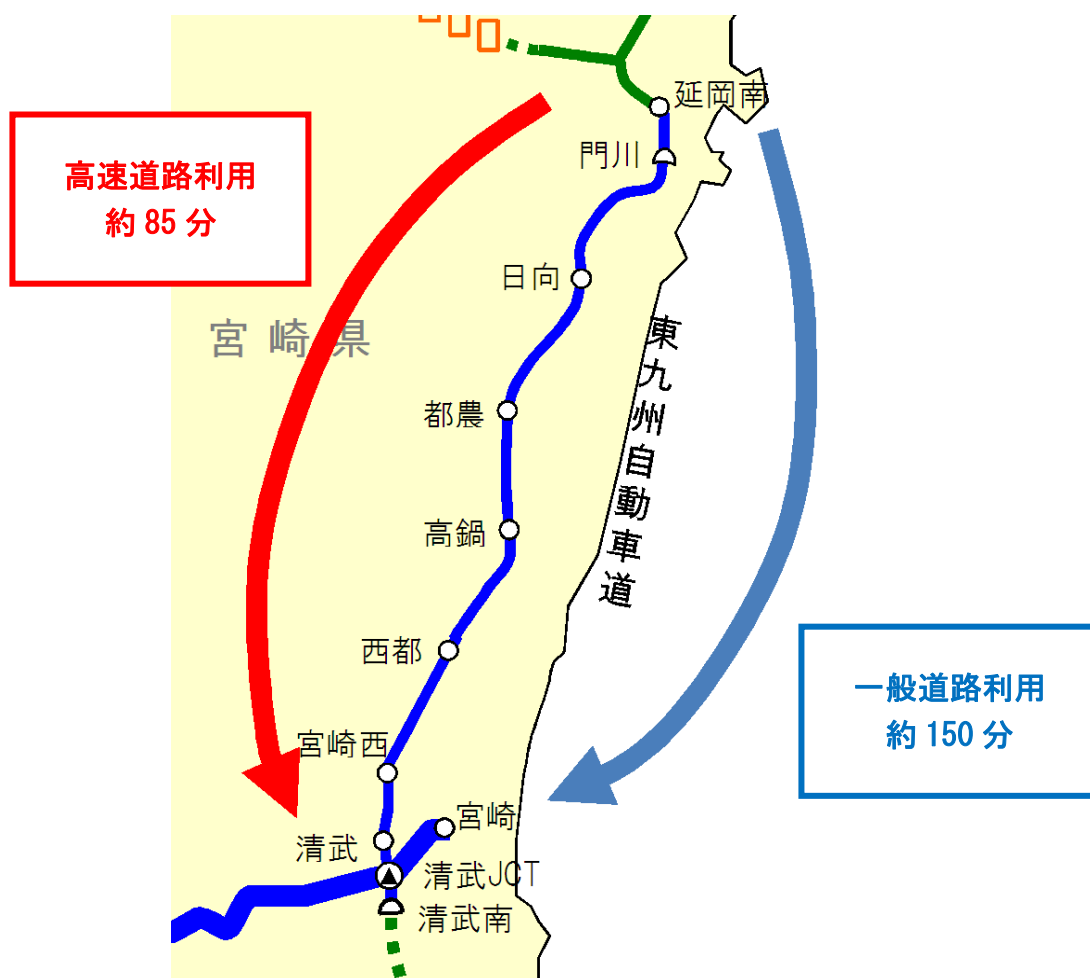


## 日向IC～都農IC間の開通効果①

今回の開通により、延岡市～宮崎市間の高速交通ネットワークが形成され、すべて一般道路を利用した場合と比較して約150分が約85分となり、約65分間の時間短縮となります。



## 日向 IC～都農 IC 間の開通効果②

都農町内より北側の延岡市内にある第三次医療施設への搬送時間が一般国道 10 号利用と比較して約 65 分から約 48 分へと 17 分短縮されます。

これにより、都農町内より南側の宮崎市内にある第三次医療施設に現在供用中の東九州道を利用して搬送する場合の約 52 分とほぼ同程度の所要時間となり、医療活動における選択肢が広がり救急医療活動への貢献が期待されます。



都農町から県立延岡病院  
約 65 分 ⇒ 約 48 分 (17 分短縮)

都農町から県立宮崎病院  
約 52 分

## 日向 IC～都農 IC 間の開通効果③

日向地域は、日向夏や鶏肉等で県内有数の生産量を誇り、農林水産業が基幹産業である宮崎県の中でも農業生産量が大きい地域です。また、当該地域では国の重要港湾である細島港の国際物流ターミナルの整備着工や県北屈指の細島工業団地への製造等の各種企業が進出しており、今回の開通により高速道路へのアクセスが向上することで、物流の効率化が図られ、地域産業の活性化や発展が期待されます。

### 《日向地域における主な特産品》

宮崎牛



みやざき地頭鶏



日向夏



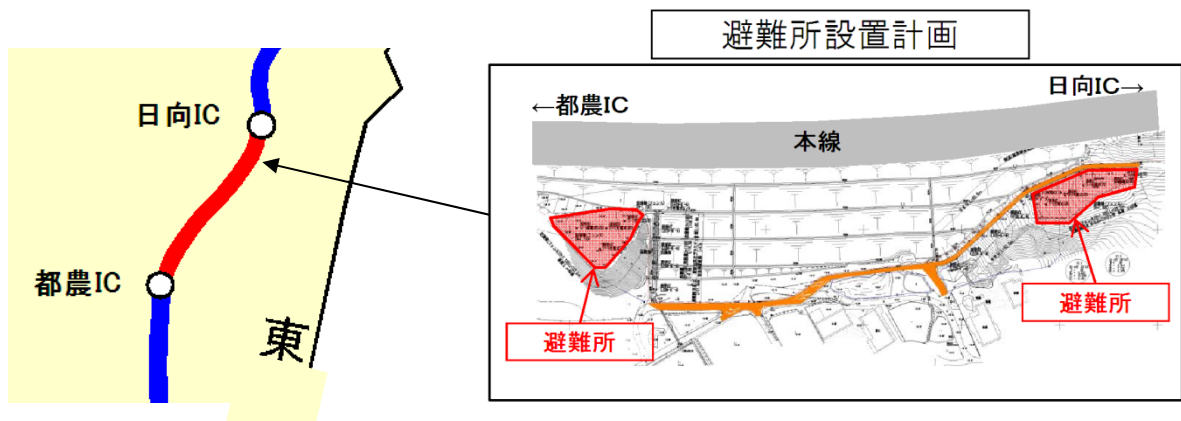
平兵衛酢（へべす）



## 津波避難所の設置

日向市平岩地区の地盤高さは海拔 3m程度であり、「宮崎県津波浸水想定」において 5m以上 10m未満の浸水範囲に指定されています。（最大津波高さ約 15m）

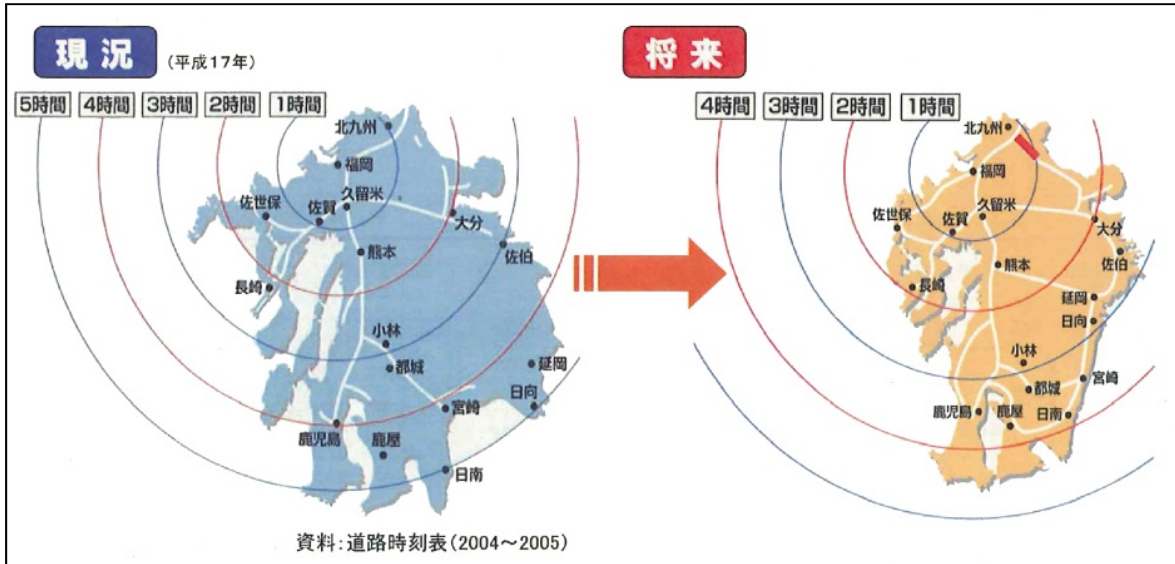
当該地区には日向工業高校や集落（約 1,000 名）があるため、日向市と津波避難所設置に関する協定を締結し、日向市において本線横に整備しているところです。





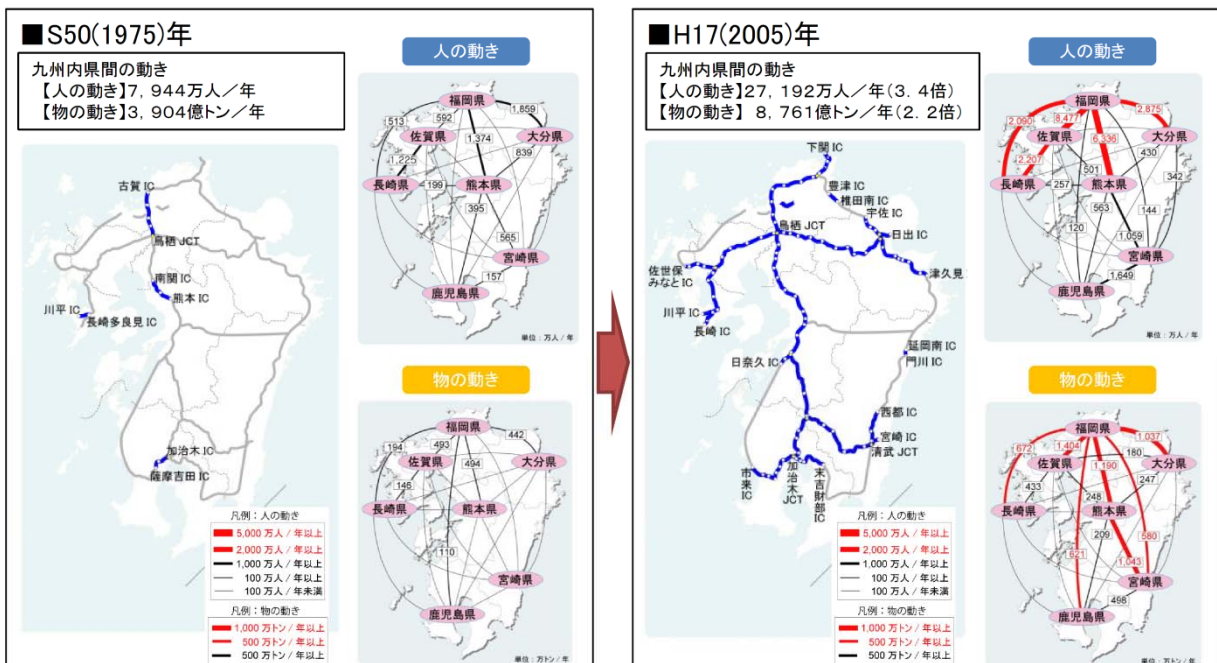
# 高速道路網の完成により期待される効果《参考》

東九州道などの九州の循環型高速道路網が完成すると、九州内主要都市間の移動時間が飛躍的に短縮され、特に東九州域の地域交流が活発になることが期待されます。



高速道路開通後の時間圏域(平成17年と将来の高速ネットワーク完成後)

高速道路の延伸に伴い、人や物の流れが広域化してきており、今後、東九州自動車道が完成すれば、循環型ネットワークの形成により、福岡(北九州)・大分・宮崎間の人や物の流れの活性化が期待されます。



▲九州の高速道路の変遷と旅客・貨物流動の変化

資料: 国土交通省 貨物・旅客地域流動調査